



あしこ 広報

12月 (No.105)

発行/越路町役場(新潟県三島郡越路町) TEL (02589) 2-3111 ■印刷/大川印刷所

秋の文化祭行事成績

駅伝大会

全長二十七・四キロメートルのコースに、参加二十四チーム、選手総勢二百七十三名により熱戦が展開された。

今年は、かつてない多数の参加チームがあった。
又、越路中女子チームが四チームも参加し、一般男子チームより早くゴールインするという結果も出、応援の人々をわかせた。

大会記録は次のとおり。

種別	順位	チーム名	時間	分	秒
○中学男子の部	優勝	越路中A	1	29	53
	二位	塚山中A	1	30	11
	三位	越路中B	1	34	55
○中学女子の部	優勝	越路中A	1	45	16
	二位	越路中C	1	48	19
	三位	越路中B	1	49	38
○一般の部	優勝	越路中OB	1	35	11

順位	若人	浦青年会
二位	1	36
三位	38	31

囲碁大会

優勝(二段)	鷲頭武
二位(四級)	中静栄吉
三位(二段)	平沢達夫
四位(三段)	熊倉康雄
五位(四級)	酒井洪一

美術展

○絵画の部

日本画	山本雪江(中沢)
洋画	安藤正芳(岩田)
○書道の部	大石勝太郎(泉島)
○写真の部	西沢一郎(岩田)

年末調整

サラリーマンはご注意ください

十二月には、この一年間に源泉徴収された所得税を精算するため年末調整が行なわれます。サラリーマンの方に注意していただく点をお知らせしましょう。

この心配ごと相談は 十二月十五日
行政苦情相談は 十二月二十一日

今月の納税

国民年金 3期
納期日 12月21日

次のような場合は、今年最後の給与の支給日前に勤務先へ忘れずに申告してください。

- 1、扶養親族や配偶者控除が受けられる配偶者などに異動があり、まだ異動申告をしていない人。
- 2、国民健康保険や国民年金などの社会保険料、生命保険料、損害保険料の控除を受けようとする人。
- 3、住宅や宅地を買い替えるために一定要件のもとに、銀行などへ預金して住宅貯蓄控除(本年中の積立金額の四割相当額、限度額二万円)を受けようとする人。

または、勤労者財産形成貯蓄をして住宅貯蓄控除(本年中の積立金額の六割相当額、限度額三万円)

公給領収証を受けとりましょう

あなたや、料理店や、旅館、飲食店、バーなどで飲食、宿泊された場合は、料理飲食等消費税を支払っていただいております。忘年会や新年会で、料理店などで飲食した場合は必ず公給領収証を受けとりましょう。

公給領収証を受けとることは、学校や道路等が良くなることにもつながります。

公給領収証は、明朗会計です。長岡財務事務所

忘れずに受けて下さい

母子検診

検診場所	日時	時間	内容
塚野山公民館	12・11	2:00	乳児検診
岩田公民館	12・12		〃
越路町役場	12・13		〃
〃	12・20	3:30	〃

収穫感謝祭



十一月十九日越路小学校で、ひとあし先に収穫感謝祭が行なわれた。小さな苗を子どもたちが田植して、秋にはなれない手つきで稲刈りをした。

勤労の意欲と感謝の気持ちをつちかう、実習田「雪ん子田んぼ」の収穫祭は、PTAの奉仕で昔ながらの「もちつき」である。

今は見ることが少なくなったもちつきも、子どもたちの大きなかけ声で、もちをつき、おしるこで収穫のよろこびを味わっていた。

今月の主な内容

- ▼昭和四十七年度決算状況 昭和四十八年度(上半期) 予算執行状況
- ▼叙勲と表彰
- ▼バラまかれた畜産公害を一掃
- ▼プロパンガス事故を防ごう
- ▼緑への提言
- ▼冬休み中の子供さんの生活指導

町の人口

住民基本台帳人口(10月末日現在)	3,022		
世帯数	13,735		
内訳	6,703		
内訳	7,032		
10月の住民移動状況			
出生数	16	死亡数	9
内訳	9	内訳	6
内訳	7	内訳	3
転入数	41	転出数	43
内訳	22	内訳	21
内訳	22	内訳	22



(3) 広報こしじ

1万3千町民の台所

越路町告示第10号

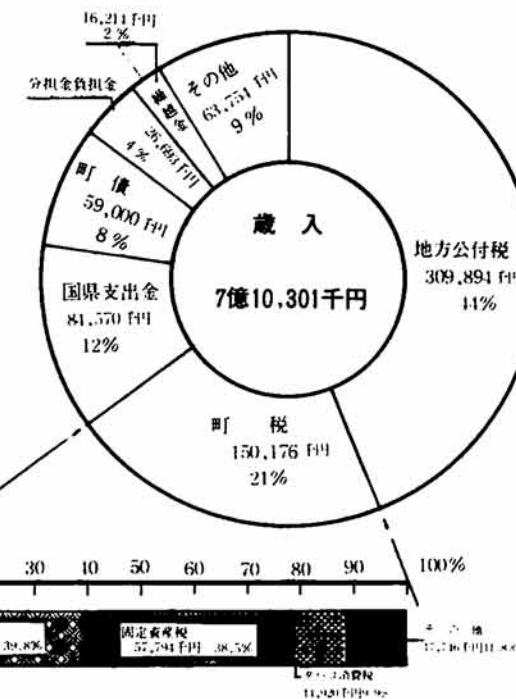
越路町財政事情を 次のように公表します。

昭和48年12月1日

越路町長 勝又 俊 導

昭和四十七年度の一般会計と国民健康保険等特別会計の決算が九月町会で認定されましたので、その概要とあわせて、昭和四十八年度上半期(四月-九月)の予算の執行状況をお知らせします。
また、これより先に、ガス事業会計の決算も六月町会で認定されておりますのでお知らせします。

町民1人当り
町税11,023円
歳出決算額
51,763円



一、決算のあらまし
町行政の主体をなす一般会計は年度当初五億三千六百九十二万七千円でスタートしましたがその後七回の追加補正が行われ最終予算は、七億六千四百三十三万五千円となりました。

一般会計

これに対して決算額は、表一のとおりであり歳入歳出差引残額は一千二百六十二万五千円の黒字となりましたが、このうち五百万円を財政調整基金(年度間財源調整)に繰り入れたので結局七百六十二万五千円を四十八年度に繰り越すことになりました。

表1 決算収支状況 (単位千円)

区分	最 予 算 額	終 算 額⑦	前 年 度 決 算 額①	増 減 額⑦-①	増 減 率 %
歳入	706,435	710,301	613,903	96,398	15.7
歳出	706,435	697,676	597,689	99,987	16.7
差引	-	-	12,214	△ 3,589	△28.4

○昭和47年度1年だけの収支を見た場合(単年度収支)

歳入総額 710,301千円- 歳出総額 697,676千円=12,625千円……12,625千円(黒字)

実質収支 前年度実質収支(繰越金) 単年度収支
12,625千円- 16,214千円=△ 3,589千円(赤字)

○歳入歳出の内容による収支を見た場合(実質単年度収支)
昭和47年度 財政調整基金積立金 実質単年度収支
単年度収支 取り崩し額
△ 3,589千円 + (1,320-0) = △ 2,269千円(赤字)
○翌年度以降に繰り越した財源(保留財源)
昭和47年度実質収支 12,625千円 繰越金 7,625千円
財政調整基金積立金 5,000千円
昭和47年度末財政調整基金 15,310千円
昭和47年度末保育所建設基金 35,180千円
昭和47年度末福祉施設建設基金 26,400千円

表2 主要歳入の伸び率 (%)

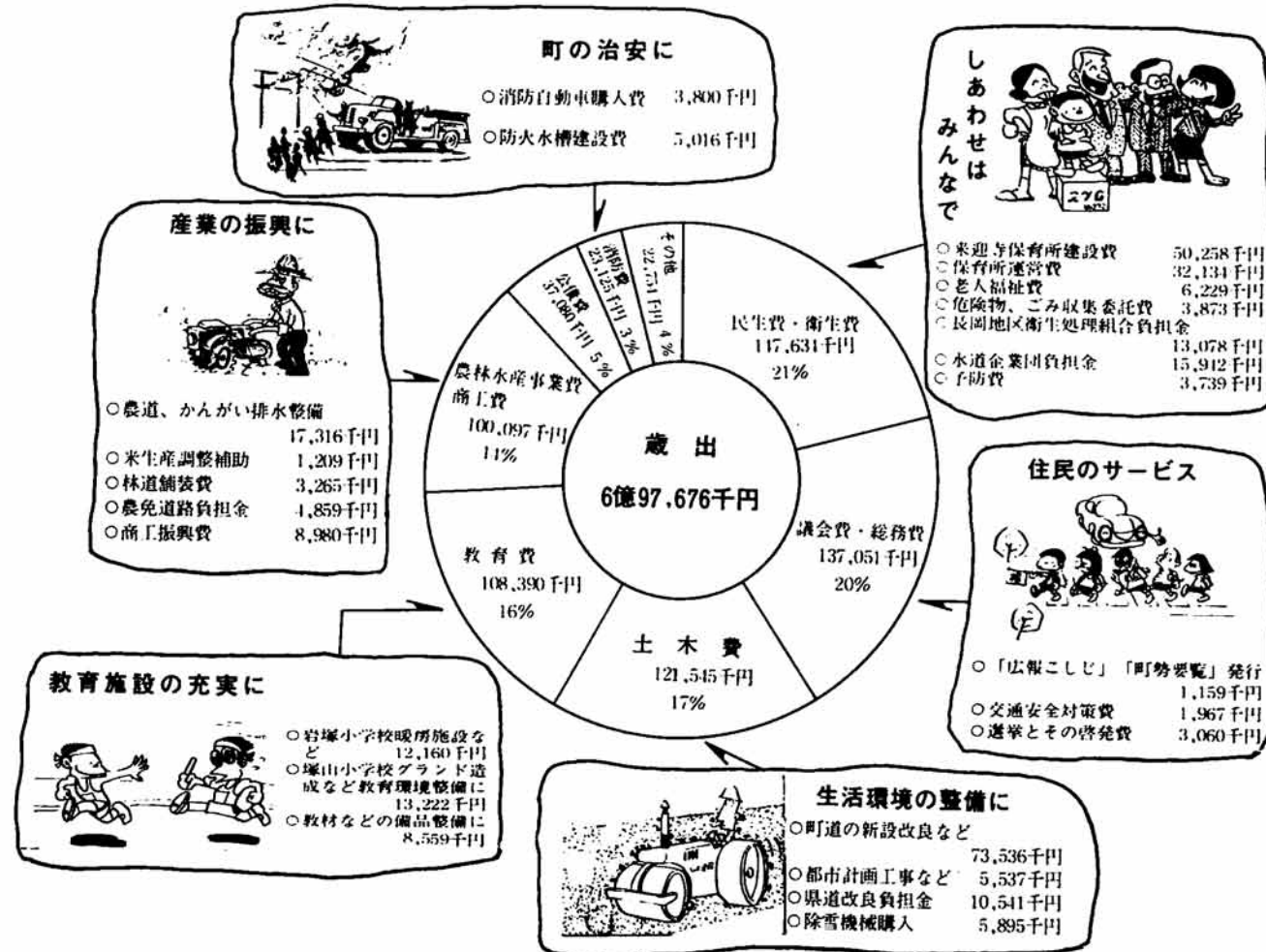
区分	44年度→ 45年度	45年度→ 46年度	46年度→ 47年度
町税	18.7	5.9	16.7
地方交付税	16.0	29.8	17.1
国県支出金	△28.6	10.1	16.2
繰越金	△42.9	△56.7	97.2
町債	△14.4	△ 5.8	60.8

二、歳入の状況

歳入は予算現額七億六百四十三万五千円に対して収入済額七億一千三十万一千円となり予算との比較では三百八十六万六千円の収入増となり未納額はありませんでした。グラフでご覧のとおり歳入の横綱は地方交付税(国からの交付金)の三億九千八百九十九万円で次が町税の一億五千七百七十七万円で両者合せて歳入全体の六十五%を占めており、このほか国、県からの補助金等が八千四百五十万円、町債五千九百万円等が主な歳入となっております。
主要歳入の推移を表二で見てください。

三、歳出の状況

歳出の決算額は、六億九千七百六十七万六千円となり予算に対する執行率は、約九十九%に達し、計画通りの予算執行となり、予備費二百八万五千円を含む八百七十五万八千円が不用額となりました。
歳出決算額は、前年度に比べ約一億円(一六・七%)の増加となりましたが、建設事業費の増大、給与改訂、保育所新設に伴う人件費の膨張、老人医療対策の拡充による支出増加等が主因をなしているものです。
歳出を行政目的別に見た場合下記のグラフのようになります。さらに歳出経費を性質別に分類すると表三のとおりであります。
性質別経費の内容は、道路整備、保育所建設等いわゆる建設事業費



町の治安に
○消防自動車購入費 3,800千円
○防火水槽建設費 5,016千円

しあわせはみんな
○来迎寺保育所建設費 50,258千円
○保育所運営費 32,134千円
○老人福祉費 6,229千円
○危険物、ごみ収集委託費 3,873千円
○長岡地区衛生処理組合負担金 13,078千円
○水道企業団負担金 15,912千円
○防費 3,739千円

住民のサービス
○「広報こしじ」「町勢要覧」発行 1,159千円
○交通安全対策費 1,967千円
○選挙とその啓発費 3,060千円

生活環境の整備に
○町道の新設改良など 73,536千円
○都市計画工事など 5,537千円
○県道改良負担金 10,541千円
○除雪機械購入 5,895千円

産業の振興に
○農道、かんがい排水整備 17,316千円
○米生産調整補助 1,209千円
○林道舗装費 3,265千円
○農免道路負担金 4,859千円
○商工振興費 8,980千円

教育施設の充実に
○岩塚小学校暖房施設など 12,160千円
○塚山小学校グラウンド造成など教育環境整備に 13,222千円
○教材などの備品整備に 8,559千円

(5) 広報こしじ

がトップで全体の三十八%を占め、次いで職員給与費等八件費、二十五%、備品、消耗品、光熱水費等の物件費が十一%であり、これらを合わせて歳出総額の七十五%を占めています。

なお各経費の増減率では人件費の二十%増をはじめ建設事業費十七%と主要経費は相当な伸びを示しており特に老人医療費対策、水道企業団負担金等の関係で扶助費補助費等は二倍以上の著しい増加となりました。

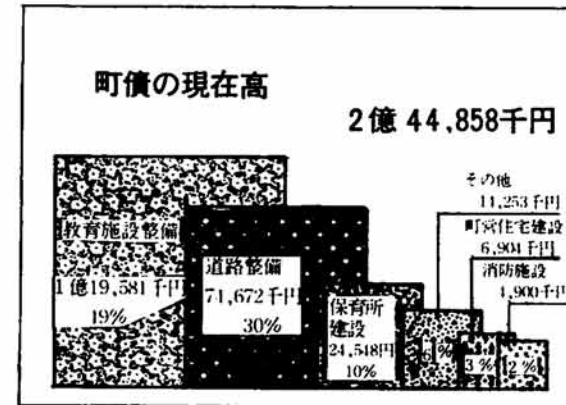
以上昭和四十七年度一般会計決算の概要を説明いたしました。が激動する経済情勢の中、ともかく予定した事業は計画通り消化して一応の黒字決算を得ましたので、さらには町勢の飛躍を目指して努力しなければなりません。町民各位の一層の御協力をお願いいたします。

表3 性質別歳出の状況 (単位千円)

区分	昭和46年度		昭和47年度		増減率 ①-②×100 ②
	決算額①	構成費	決算額②	構成費	
人件費	147,525	24.7%	177,151	25.4%	20.1%
物件費	69,955	11.7	75,810	10.9	8.4
維持補修費	13,262	2.2	16,334	2.4	23.2
扶助費	3,579	0.6	11,290	1.6	215.5
補助費等	34,253	5.7	69,132	9.9	101.8
公債費	36,914	6.2	37,080	5.3	0.3
横立金	36,400	6.1	27,900	4.0	△23.4
投資出資貸付金	6,226	1.1	6,149	0.9	△1.2
繰出金	16,500	2.7	3,540	0.5	△78.5
普通建設事業費	226,033	37.8	264,818	38.0	17.2
災害復旧事業費	2,380	0.4	3,801	0.5	59.7
失業対策事業費	4,592	0.8	4,671	0.6	1.7
合計	597,689	100	697,676	100	16.7

昭和47年度の主な建設事業の概要 (単位千円)

事業名	事業費	左の財源内訳			
		国支	県支	地方債	その他
役場車庫新築工事	2,230	-	-	1,500	730
未迎寺保育所建設事業	50,257	7,950	17,000	2,830	22,477
岩塚保育所敷地造成事業	3,913	-	-	-	3,913
環境衛生排水事業補助金	2,257	-	-	-	2,257
水道企業団建設費負担金	15,942	-	-	-	15,942
灌漑排水改良補助金(浦)	2,120	1,844	-	-	276
県単土地基盤整備補助金	3,010	1,701	-	-	1,309
県営農免道路事業負担金(2件)	4,859	-	-	1,465	3,394
農道整備事業(2件)	47,287	26,890	-	18,002	2,395
菅沼林道整備事業	3,557	1,702	-	269	1,586
州形観光施設整備事業	1,008	500	-	-	508
除雪機械購入	5,820	3,753	1,400	-	667
道路整備事業	81,552	2,170	28,200	6,108	45,078
上地区画整理事業助成金	5,062	-	-	-	5,062
防火水槽建設事業(5基)	4,742	450	2,900	345	1,047
消防自動車購入(本部)	3,800	-	2,000	-	1,800
越小グラウンド整備、排水工事	2,884	-	-	-	2,884
塚小グラウンド用地買収・同整備事業	10,777	-	6,000	-	4,777
岩小暖房施設工事	11,900	-	-	-	11,900
越中体育館等屋根葺替	3,140	-	-	-	3,140
塚中屋体床張替・教室改装	1,895	-	-	-	1,895
公共用地先行取得事業	13,737	-	-	6,883	6,854
防犯灯建設事業	500	-	-	-	500
農産物集出荷場設置補助	814	740	-	-	74



特別会計

昭和四十七年度の歳入歳出状況は、歳入総額一億四千二百七十三万円、歳出総額一億三千九百八十一万円で、差引二百九十二万円の黒字となり、黒字分は全額翌年度へ繰越しました。

しかし、この黒字額は前年度より七百六十万円繰越されているため、単年度だけでは四百六十七万円の赤字となつてしまっています。

国民健康保険事業会計

区分	決算額①	前年度決算額②	差引①-②
歳入	142,733	120,994	21,739
歳出	139,811	113,394	26,417
差引	2,922	7,600	△4,678

歳入

歳入総額を前年度と比較すると約十七・九%の増加を示しています。歳入の主なもの、国庫支出金が八千四百五十一万円で、全体の五十九%を占めている。

加入者が納める保険料は、四千七百八十四万円で二十三%となっています。

歳出

歳出総額を前年度と比較すると二十三・二%の増加であります。歳出のほとんどが保険給付費で一億二千九百二十二万円で、九十二%となっています。

また、一人当りの保険料の平均負担額は、六千八百三十三円、保険給付費の給付額は一人当たり平均一万八千四百五十六円で、保険給付額は保険料の二・七倍の額が必要となりました。

受診状況

被保険者一人が一年間でどのくらい受診したかを見ると、年々上昇し今年度は平均四・七回受診したことになります。これは若年者の社会保険等への移行で、比較的に受診回数が多い高令者の比率が多くなってきた事と思われる。

被保険者一人一人が健康に留意され、明るい家庭づくりに努力く

1人当り保険料と療養諸費 (円)

年度	療養諸費	保険料	差引額	増減率(前年比)
43	8,315	4,128	4,187	16.0%
44	9,933	4,272	5,661	35.2
45	12,510	5,093	7,417	31.0
46	13,846	5,974	7,872	6.1
47	18,456	6,833	11,623	47.6

簡易水道

会計の決算

白山地区の簡易水道は、前年度水源ポンプ、配水設備を完了しましたが、さらに今年度は区域内の配水管布設工事、消火栓の設置等を行ない十月から供給を開始した。

飯塚、沢下条、飯塚河東地区で水不足による一部断水が起きましたが、水源確保の抜本対策も見当たらず一時的に加入者へ不便をおかけしましたが、四十九年秋までは、広域水道の供給が行なわれる予定ですのでそれまでの間、みなさんのご協力をお願いします。

簡易水道 会計決算

歳入	17,186,467円
歳出	13,310,061円
差引残高	3,876,406円

決算

町営ガスは、生活水準の向上に伴ってガス需要も前年度に引き続き十一%という順調な伸びとなりました。町営ガスも供給開始以来十年目を迎え、需要家戸数、供給量ともに年々伸び、今年度は一戸当り月平均三・五㎡の使用量増加となりました。

また、今年度は白山団地の宅地

ガス事業損益計算書

当年度純利益 (円)				
3,129,191				
収	益	営業収益	営業雑益	営業外収益
48,024,511	38,672,122	6,771,920	2,580,469	
費	用	営業費用	営業雑費	営業外費用
44,895,320	30,596,145	9,019,877	5,279,298	

造成で、住宅建築が急速に進むため四百戸余りに供給可能なガスパイプ工事を行なった。岩田、不動沢地区の供給不良地区解消改善工事等を行ない安定供給に努めました。

昭和四十八年度予算 (上半期) 執行状況

昭和四十八年度一般会計予算額は、当初六億四千八百七十八万七千六百円(増)の追加補正により年度中間の九月末現在では七億七千九百九十九万円の規模に達

六月初予算では、総額二千二百九十九万円の追加で西野泉島間

昭和48年度予算の推移 (単位千円)

区分	予算額(補正額)	左の財源内訳			一般財源
		特定財源	国庫支出金	地方債	
当初	648,780	78,244	36,400	40,127	494,009
補正1号(6月)	22,991	7,754	-	585	14,652
補正2号(9月)	36,019	14,063	-	5,356	16,600
累計	707,790	100,061	36,400	46,068	525,261

の国庫補助による道路改良を含む土木費一千四百九十九万円、林道災害復旧費三百八十九万円、町営住宅補修費二百二十五万円、東部水道試験井戸掘き委託料五十万円等が主な補正の内容でありました。

さらに九月補正においては、浦保育所開設に伴う人件費等四百三十三万円、西谷地区養豚ミニ団地建設補助九百七十二万円(内県費八百十六万円)集落開発センター建設補助(沢下条)二百七十五万円(内県費二百五十万円)消防施設関係係百三十七万円、役場前舗装宿直室改造費二百二十五万円等総額三千六百万円余りの追加補正が行われました。

昭和48年度予算執行状況(上半期) (単位千円)

区	分	入			出				
		予算現額	収入済	執行率	予算現額	支出済	執行率		
町	税	164,047	89,210	12.6%	議会費	19,393	8,932	1.3%	
	地方譲与税	7,000	2,009	0.3	総務費	95,555	40,813	5.7	
	自動車取得税	8,000	3,929	0.5	民生費	127,135	65,736	9.3	
	地方交付税	305,000	237,435	33.5	衛生費	67,114	25,219	3.6	
	各務分団交付金	353	-	-	労働費	5,134	1,857	0.3	
	分担金負担金	25,136	6,158	0.9	農林水産業費	65,975	9,707	1.4	
	使用料手数料	7,922	3,536	0.5	商工費	14,995	10,168	1.4	
	国庫支出金	50,992	13,327	1.9	土木費	123,497	37,317	5.3	
	県支出金	49,069	4,329	0.6	消防費	21,316	5,224	0.7	
	財産収入	1,136	2,461	0.4	教育費	110,293	34,926	4.9	
	寄附金	40	-	-	災害復旧費	4,606	37	-	
	繰入金	28,500	-	-	公債費	40,290	7,431	1.1	
	繰入金	7,625	7,625	1.1	諸支出金	10,000	-	-	
	諸収入	16,570	1,947	0.3	予備費	2,487	-	-	
	債	36,400	-	-					
才	入合計	707,790	371,966	52.6	才	出合計	707,790	247,368	35.0

予算の執行消化状況は、浦保育所建設が九月に竣工十月一日から新規開設されたほか計画事業の消化はほぼ順調に進んでおり、国の財政がインフレ対策として予算繰り延べの措置をとっている中で町の九月末現在執行率は才入五十二・六%才出三十五・〇%となっております。

今年度後半の財政見通しでは、人事院勧告に準じた職員の給与改訂に要する経費およそ二千万円以上の追加補正が見込まれておりますので今後一層消費的経費の削減

を効率的な予算執行に努めなければなりません。

叙勲と表彰

平石小市郎氏

黄綬褒章



通商産業大臣表彰

長年杜氏として活躍され、全国杜氏組合副会長、県及び町杜氏組合等の要職にあつて、常々酒造技術の向上に努めるとともに後進の指導育成に尽力されました。

朝日酒造株式会社

町の養豚は、十数年前までは一頭飼いがほとんどであった。そのころは、公害という言葉もなく平穩に豚を飼うことができた。しかし年々少数飼育者が減り、多頭飼育家がふえるにつれ、ふん尿や汚水などによる苦情が出るようになった。

西谷に養豚団地
バラまかれた
畜産公害を一掃



完成間近い養豚団地

にある五戸の養豚家が集団移転し畜産経営によって起因する環境汚染問題を未然に防ごうとするもので、ふん尿および汚水の処理は機械的に行ない、においや汚水などで他人に迷惑をかけないようにする。

越路部落の起源

一部五〇円で
頒布します

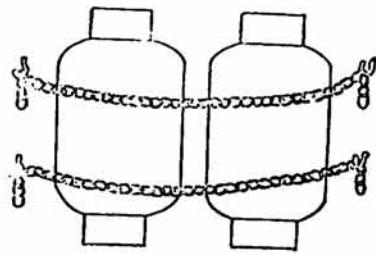
町老人クラブ連合会が編集し、町が印刷発行した「越路部落の起源」を、希望者へお分けします。

おそろしい

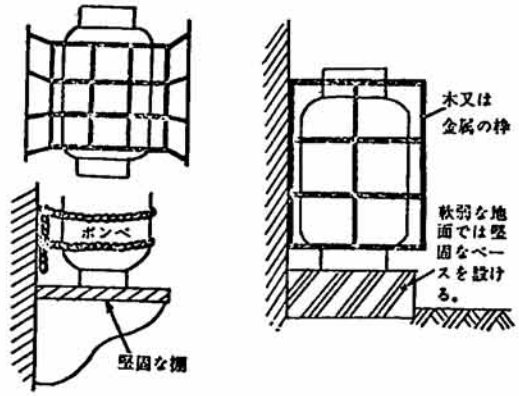
プロパンガス事故を防ごう

冬を迎え、プロパンガスを使用している家庭では、大型ボンベを貯蔵しておられるのではないかと考えます。プロパンガスはゆだんすると爆発をともなう、たいへん危険な事故を起してしまいます。取扱いは次のことがらを必ず守ってください。

1. ガスボンベは、屋外に置き二メートル以内に火気をささない



2. やむなく屋内に置く場合は、もれたガスが屋内に滞留しないような措置を講ずること。
3. ガスボンベの温度は四十度以下に保つこと。
4. ガスボンベは、凶のように、転落、転倒しないようにする
5. ゴム管等は、腐しよく、割れ目のないものを使用すること
6. ゴム管等は、ホースバンドで締めつけること。



こんなに差がつく

区分	定額	分の合	附加年金(加入した期間(定額分に加算))				
			10年	20年	25年	30年	40年
年数	万円	万円	万円	万円	万円	万円	万円
25	24	26.4	28.8	30.0	-	-	-
30	28.8	31.2	33.6	34.8	36.0	-	-
40	38.4	40.8	43.2	49.2	45.6	48.0	-

注 49.1 改正の年金額で算出

このたびの国民年金制度の改正により、いままで所得のある人しか納められなかった附加年金(いままで所得比例)に、保険料の免除を受けている人を除けば、誰れでも納めることができるようになります。これで、より多い年金が受けられることになり、老後の生活が豊かになります。

奥さまも附加年金保険料が納められます

ポストコーナー

年末の郵便
小包は12月15日までに
年賀状は12月22日までに
郵便番号は住所の一部です

十二月は郵便物のもっとも忙しい時期です。スムーズに配達できるように次のことを、必ず守ってください。

1. 小包の荷造り、包装はしっかりと、ヒモは厳重にかけ、荷札は二枚つける。
2. あて名は正確に、必ず郵便番号を、番地やアパート名などを、
3. 年賀状は、家族そろって日曜日に書くようにしましょう
4. お年玉つきでない、はがきを年賀状として出すときは表面の左側に「年賀」と赤で書いて下さい。

を書かなかつたばかりに、せっかく出した小包や年賀状が着かない例もたくさんあります。

緑への提言

新潟県林業振興大会で

林業振興と緑化への関心を高めようと、新潟県林業振興大会が越路町で行なわれたことはご承知のとおりです。この大会で「緑と花でつもう町や村」をテーマに緑への決意を述べた中学生の意見を皆さんと一緒に考えてみましょう。緑は(森林)レクリエーションの場となり、自然の猛威から国土を守ってくれます。また、私たちに住まいや、紙なども与えてくれます。すみきった空気と清い水をも与え、公害から守る大切な資源でもあります。

緑とわたしたち

越路中 平井まさみ

今年の四月に、わたしたち三年生は修学旅行に行ってきました。東京について、まず驚いたことは建築物の調和がとれ、とても美しいということでした。上になり下になり、重なっては離れる、高速度や四角をてっぺんにつけている。とてもスマートな道路標識。国会議事堂のおちついた色もすてきだったし、日暮れになって赤や緑や紫のネオンがつきだして、オレンジ色の点々で東京タワーが浮き出されたときには、その美しさに胸がどきどきしました。そして、このようなきれいな所に住んでいる人達がうらやましくなりました。

このように都会の建物の美しさにうっとりとしていたわたしでしたが、帰りの汽車の中で、いつも

と、それがグラウンド、というような所が多いようです。それに比べわたしたちは、とてもめぐまれているのに、今までそのことに気づいていなかったのです。めぐまれすぎて無関心だったのです。

これと同じように、緑について考えることが少ないからかも知れませんが、このわたしたちの周囲の緑も年々少なくなっているのではないのでしょうか。

わたしの家の前の道は「ニメートルくらい」の小さな道なのですが、その道も舗装されました。わたしが学校に行く坂の道も工事をしています。そのため、坂はだいぶけずりとられ、木も少なくなりました。これは、このようになるとは、大自然の中ではとるにたらないような、ささいなことでしょうけれども「腰も積もれば山となる」のたとえのように、一人一人が注意しなければならぬことだと思えます。又、自然の保護をかえりみない開発が多く行なわれているということが、理科や社会の時間にさえ、話題にされます。この間に藤原の「奥の細道」紀行の授業のとき、この文章の最後「月山は今では、八合めのすぐ下まで舗装された車道ができていて芭蕉の歩いた旧道はどこどころに断片が見え隠れするばかりであった。でも、奥の細道が教えてくれる最大のことは、「歩く」ということの深い意味なのだ。」と

いうくだりがあった、その時に自然破壊の話がでました。

観光道路をつくったのは、その観光地の発展を目ざしたに違いないかもしれませんが、しかし、その道路をつくるために、山をきりひらいたり、またその道路を通る車が排気ガスをまきちらしたりするので、観光的目的となる自然が破壊されてしまうわけで、そこに何か矛盾を感じられます。もし経済的な利益を求めて観光道路をしいたとしても、その利益を手に入れたとしても、それと、そのために失った自然とを比べてみたら、自然の損失が大きいのではないのでしょうか、又、こういう道路がつくられることによって、昔の人が旅をしたときの心のような「つらいこともがまんする心」や「緑とその生命の変化をほんとうに美しいと思って大切にしている心」が失われてしまうのではないのでしょうか。

自分たちの生活をよりよくするために開発をすすめるわけですが、そのことによって自然が破壊されるならば、その損失の大きさを、私たちは十分考慮しなければならぬと思います。

緑はわたしたちの気持ちを柔らげたり、洪水を防いだり、空気を浄化したりと、わたしたちの生活にたいへん役だっています。このよいうな自然は一朝一夕にして出来上がったものではなく、幾世紀を経た今日の姿を保っているわけであることを再認識しなければならぬと思えます。そして、私たちの先祖が残してくれたこの大自然の決意を新たに、現在の姿のまま残すだけではなく、もっと多くの遺産として子孫に伝えていくことが私たちの使命であり、義務だと思えます。

駅だより

年始の臨時列車

柏崎発上野行急行「よねやま51号」が一月四、五、六日の三日間運転されます。来迎寺駅発午後四時四十分、乗車整理券(座席確保)を十二月二十八日九時より来迎寺駅で発売します(一枚五十円)

小荷物の発送は早めに、年末は荷物の発送が急増して到着が、かなり遅れがちです。荷物はなるべく早く出さないと年内到着は難しくなります。荷造りは、シッカリと、荷札の外に荷物自体にも、あて先を書いて下さい。

駅留は、先方の電話番号を書き添えて下さい。

冬休み中の子どもさんの生活指導

正月にまたがるこの休みは、家で、ご指導下さい。

庭では、お客様の出入りも多く、ともすると子どもさんにも目にとどかない点も多いかと思えます。十分気を配られまして事故なく一家楽しい正月を迎えて下さい。この期間子どもさんを家庭にお返しするわけですが生活規律が乱れることなく、元気に二期登校させていただくため、次の点に留意されたいです。

○不良化、事故防止

「家庭の日」を設定し明るい家庭づくりを努める。そのため家庭内のだんらん工夫、対話の機会をつくらして下さい。

子どもに家族の一員である自覚をもたせる意味で仕事の分担とその責任をもたせる。

○不良化、事故防止

よくテレビでみる都会の学校はたくさん家が立ち並んでいる中にちよっと広い空き地があると思う

ガス供給所よりお知らせ

ガスの使用は届け出が必要

- 次のことは、必ず守りましょう。(用紙はガス供給所にあります。)
- 一、ガス使用開始申請書(開始七日前まで)
 - 二、新設によりガスを新たに使用するとき。
 - 三、転入、転居によりガスを新たに使用するとき。
 - 四、ガス使用休止、廃止届(休止七日前まで)
 - 一、家屋の新・改築等によりガスの使用を一時休止するとき。
 - 二、転出、転居によるガスの使用を休止するとき。

来迎寺地区ガス検針(委託)員募集

越路町ガス供給所では、次の要領によりガス検針徴収委託員を募集しています。

検針徴収を希望される人は、十二月十日までにガス供給所へ申し出て下さい。

なお、おかしな場合は、ガス供給所へお問い合わせください。

○検針徴収地区、来迎寺地区(約五百戸)但し、本条および白山団地は除く

○検針徴収日 毎月二十日から二十四日まで

○採用 十二分検針より

年末年始はごみの収集を休みます

休止期間 12月30日～1月4日まで

降雪期ですので、収集日まではごみを出さないで下さい。

厚くお礼申し上げます。

共同募金

(赤い羽根)運動にご協力ありがとうございます

「ごさいました」

全国一斉にはじめられました、共同募金も町内の皆さんより深いご理解により募金額も次のとおりになりました。

役 場 七、九二八円

学校募金 三三、三三九円

一般募金 七二〇、〇八六円

七六〇、三三三円

みんなそろって

明るいお正月を 歳末たすけあい募金に御協力下さい

現在のいちじるしい経済発展に伴うかげには生活に困っておられる方やねたきり老人、心身障害者など数多くの方がおります。

暗い苦しい毎日の生活とたたかっおられる方々に少しでも、明るいお正月を迎えてもらうため「歳末たすけあい募金運動」が十二月

一日から行はれています。なにかとお忙しいですが、皆さんのあたたかいご協力を心からお願ひ申し上げます。

募金については、部落総代を経て各家庭へお願ひしますので、よろしく御協力ください。